

○シラバスの内容について

・副題

福島災害復興に学ぶ

・授業の到達目標

報道だけでは科学や社会について何も分からない。報道は必要だが十分ではない。科学だけでも、分かったことにならない。科学知識は必要だが、それだけでは不十分だ。このような限界はどんな報道も、どんな科学知識も同じである。我々はいったい何を知っているのだろうか。しかし関西の我々でも、現場を通して災害や事故から「科学」や「社会」について、多くのことを学べるはずである。大災害や大事故を単なる「事件」で済ますのではなく、自分の問題として考え、「科学」や「社会」と「情報」について理解を深めること。それがこの授業の目標である。

・授業の概要

授業の内容は前半で、被災地の日常を含む写真を多く紹介する。次に自然災害、原子力災害、地震・津波、放射線・放射能、原発と原発事故、エネルギー政策、放射性廃棄物等の知識を一通り学ぶ。2017年4月に避難指示解除になった福島県内の4町村（富岡町、浪江町、飯舘村、川俣町・山木屋地区）では、やっと「まちづくり」が本格化した。しかし福島の大部分の地域では以前から、普段の生活に戻った場所が多いことにも、驚くかもしれない。

授業の後半では、このような問題から社会学を通して初めて見える風景について学ぶ。すなわち福島復興の社会的広がりや意味について、新復興構想にも言及しつつ、広く多様な視点から考察を深めることを目指す。

=>開沼担当回を通しての目標：福島関連のニュースを見聞きした時、なんの話をしているのか分かる！「福島の問題」を深掘りすると、福島のみならず、日本全体、あるいは現代の世界的な政治・経済・メディア・科学と社会・地域・一次産業・医療福祉等が抱える根本的な問題を考えることに直結する。

・教科書

『はじめての福島学』（イースト・プレス）

『福島第一原発廃炉図鑑』（太田出版）

『いちえふ 福島第一原子力発電所労働記(1)』（講談社）

・参考文献・資料

随時、オンラインでアクセスできる文章・資料を中心に提示します。

・成績評価方法

授業への取り組み 60%：毎回、授業前に提出する「ミニレポート」を評価します。

レポート 40%：「ミニレポート」の合間に複数回、少し長文のレポートを課します。

○注意事項

・(まじめに参加すれば) 負担は極めて大きい  
毎回、リーディングアサインメント&ミニレポート

・不真面目であっても読むこと前提  
ミニレポート・レポート出せば評価は確実につきます。  
ただし、コピペ無し。人力・IT使って対応。  
あと、講義来ても音・におい無し。だったら来ない。

#### ○講義情報

・「開沼博 オフィシャルサイト」の「講義」に掲載。



<http://kainumahirosi.net/%E9%96%8B%E6%B2%BC%E5%8D%9A%EF%BD%9C%E8%AC%9B%E7%BE%A9/>

・最新のシラバス、文献(リーディングアサインメント)、ミニレポート提出フォームを掲載します。  
・ミニレポート提出フォームは授業日の翌日までに掲載します。そこから提出して下さい。  
・コピペはだめですが、内容自体で大きな評価の差はつけません。要件にあわせて(内容・字数)提出  
あれば問題ありません。

#### ○ミニレポートの内容

・「問題を作して下さい」に何を書くのか?  
本日の「福島を知るための15問」にならって、Q&Aを作して下さい。

・「要約して下さい」に何を書くのか?  
「根本・本質」をつかみ抽出する  
1) 「一言で言うと、どんな話？」  
2) そこに要素をモレ・ダブリなくつけていく  
3) 書き通してみたら「てにをは」調整

・「コメントを書いてください」に何を書くのか?  
「批判的読解」をする(批判≠否定、誹謗中傷、見下し、揚げ足とり)  
「こういう別な見方、新しい見方がある」と示す。  
「批判」の方法(吉見俊哉 web <http://www.yoshimi-lab.jp/seminar/seminar-a.html>)  
ー批判の論点の明確化  
ー批判が該当する具体的記述の抽出  
ー批判の方法的基準

(実証の) 妥当性の基準 → 反証データの提示

(論理の) 整合性の基準 → 論理的矛盾の具体的指摘

(結論の) 有用性の基準 → 批判者自身の価値判断基準の明示

ー背後仮説 (Background Assumption) への理論的批判

ー代替的モデルの提示

(他に、上野千鶴子 web <https://wan.or.jp/article/show/125> の「コメントの仕方」もわかりやすい)

○今後の進め方

- ・以下、暫定バージョンです。関心、レポートの進捗見ながら大幅に変更の可能性があります。
- ・講義の2日前までにミニレポート提出

04/20 (開沼1) 2. 福島のにぎわいと今も残る爪痕：導入として「福島を知るための15問」を解く

05/25 (開沼2) 6. 福島の復興と地域社会・まちづくり・県づくり：『はじめての福島学』はじめに、1章復興、2章人口、

06/01 (開沼3) 7. 福島復興に学ぶ科学と社会(1)：『はじめての福島学』3章農業、4章漁業・林業、5章二次・三次産業、

06/15 (開沼4) 9. 福島復興に学ぶ科学と社会(2)：『はじめての福島学』6章雇用・労働、7章家族・子ども、終わりに

06/22 (開沼5) 10. 歴史的視座の上で福島の問題を捉え直す：日本記者クラブ動画＋『「フクシマ」論』はじめに、まとめの章、おわりに

06/29 (開沼6) 11. 「福島第一原発の廃炉」について：マンガ『いちえふ』を読む、『廃炉図鑑』より「廃炉を知るための15問」を解く

07/06 (開沼7) 12. 『廃炉図鑑』オンサイト(行程、汚染水) オフサイト(除染、地域づくり)(可能なら廃炉ペーパークラフト)

07/20 (開沼8) 14. 廃炉の科学と社会：『廃炉図鑑』フェイクニュース、原子力行政構造